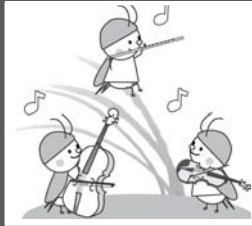


しか おい

議会だより

三二版 No.33
2011.11.25



発行 / 鹿追町議会 編集 / 広報広聴常任委員会・広報部会
〒081-0292 北海道河東郡鹿追町東町1丁目15番地
TEL/0156-66-4039 FAX/0156-66-4041



南三陸町防災庁舎

東日本大震災で大きな被害を受け
復興に尽力されている南三陸町を表敬

創造的復興へ宮城県南三陸町
産業厚生常任委員会



遠藤副町長から被害、復興状況の説明を受けました。

産業厚生常任委員会では、他町村の先駆的な取り組みを学び、知識の習得と実践に向けた事例を研修することを目的として10月24日から27日まで宮城県、岩手県で研修を行いました。

あわせまして先の東日本大震災で大きな被害を受け復興に尽力され、鹿追町より支援物資を届けたりハエの駆除をさせていただいている南三陸町を10月24日表敬訪問しました。

海岸のそばにあった役場庁舎は、コンクリートの基礎が残るだけにな

議会活動

〈8月〉

- 26日 仁木町議会視察来町、議会運営委員会
- 29日 十勝町村議会議長研修会
- 30日 全国市議会議長会基地協議会北海道部定期総会
- 6日 町村監査功労者及び監査委員全国研修
- 11日 議会報告会
- 12日 広報広聴常任委員会広報部会
- 17日 瓜幕バイオガспラント調査等特別委員会、議会運営委員会、産業厚生常任委員会

〈9月〉

- 2日 全員協議会、議会運営委員会
- 5日 まちなか会議（商工会）
- 6日 議会定例会（初日）、産業厚生常任委員会
- 7日 広報広聴常任委員会広報部会、広報部会モニター会議
- 8日 合同作況調査
- 9日 第3者審議会
- 12日 定例会（一般質問）、議会運営委員会
- 16日 議会運営委員会
- 20日 決算審査特別委員会、ナイター議会
- 21日 全員協議会
- 27日 定例会（最終日）、産業厚生常任委員会、総務文教常任委員会
- 28日 弟子屈町議会視察来町
- 29日 産業厚生常任委員会まちなか会議（6次化ワーキンググループ）
- 20日 産業厚生常任委員会道外視察研修（～27日まで）
- 24日 産業厚生常任委員会道外視察研修（～27日まで）
- 31日 中札内議会交友会視察来町
総務文教常任委員会学校施設調査、教育委員・小中高等学校長との懇談会

〈11月〉

- 1日 産業厚生常任委員会、全員協議会、議会運営委員会、喜茂別町議会視察来町
- 8日 全員協議会、臨時議会
- 10日 産業厚生常任委員会まちなか会議（道の駅・観光協会）
- 11日 広報広聴常任委員会広報部会
- 14日 総務文教常任委員会道外視察研修（～17日まで）
- 15日 十勝町村議会議長会懇談会
- 16日 第55回町議会議長会全国大会

〈10月〉

- 4日 広報広聴常任委員会広報部会、豊富町議会視察来町

議会広報広聴常任委員会

広報部会

- 部会長 狩野 正雄
- 副部会長 武藤 敦則
- 部会員 加納 茂
- 部会員 上嶋 和志
- 部会員 山岸 宏



飯沼新吾

鹿追町議会は、十勝の森林・林業・林産業の活性化を図る組織の議員連盟協議会に加入しています。今年この組織の研修会に参加し、木工場、木造住宅の進歩に眼を奪われました。

今の木工場は騒音防止、暖房の関係から密閉型の工場オートメーション化され、ほとんどの工程が機械化になり、軽作業とボタン操作・ハンドルの操作で製材されています。

木造住宅の2×4パネル工法による建設においてもオートメーション化され、住宅建設の大工さんの仕事が機械化・コンピュータ処理となり、カンナ・ノコ・ノミを使わず床・梁などが製作されていきます。地場産のカラマツ材の難題でありました「材料のネジレ」は乾燥技術で克服ができ、カラマツ材の住宅も見学してきました。

国では、国産材の使用を奨励しており、今後林業の活性化が期待されています。

議員コラム 控え室

り、テレビ等で何度も放映されている防災庁舎もみなさんご存知の通り鉄骨の柱が立っているだけでした。現在の庁舎は、高台にプレハブの仮庁舎が設置され全国各地の自治体からの応援職員と共に役場機能が果たされているとのことです。復興計画が立てられておりますが南三陸町だけでも4千100億円の



プレハブの南三陸町役場仮庁舎

復興費が必要とのことでした。今後は、津波の被害の恐れのある海岸近くには居住することを禁じ、高台に居住地を設置することです。対応していただいた遠藤副町長より鹿追町、町民の皆様の支援に対して大変感謝していると語ってまいりました。



7月に行われた鹿追町の防化車によるハエの駆除作業

小中高一貫教育、全国に向け発信

9月16日、鹿追小・中・高等学校を会場に「ふるさとに学び、世界に学び、未来を切り拓く児童・生徒の育成」をスローガンに公開授業が行われました。

道内外から関係者約3百数十名が参加、本町の教育理念である「国際理解教育（カナダ学）」、「ふるさと教育（環境学）」、「在り方生き方教育」を三つの柱として、学校・地域・行政・議会が一体となり取り組んできた成果や課題が報告されました。早稲田大学の安彦教授による講演や、宇宙飛行士の山崎直子さんのビデオレターが放映され、両氏から「鹿追町のカナダ学や地球学の取り組みを応援したい」という心強い話がありました。今後も一貫教育の課題をしっかりと



瓜幕小学校のカナダ学授業

と明らかにし、教育を町づくりの大きな柱として、新しい教育への進展に総務文教常任委員会としても研さんを重ね、管内外に小中高一貫教育の利点を発信していきます。

防衛講話「不易流行」

ふえきりゅうこう

基地対策特別委員会

鹿追駐屯地の警備地区5町(土幌、上土幌、鹿追、新得、清水)と鹿追地区自衛隊協力会連合会の主催による防衛講話が10月3日町民ホールで行われました。

講師には陸上自衛隊北部方面総監の千葉徳次郎陸将が「不易流行」と題し湾岸戦争、PKO活動、同時多発テロなど過去の情勢を説明。自衛隊の役割は「国民を守るため、民間や他省庁では出来ない事を行うのが自衛隊」と述べられました。千葉総監は「北海道は全国のなかでも最も自衛隊と自治体の連携が取れており、地域が隊員やその家族を支えてくれているので頑張れる」と日ごろの協力に感謝の気持ちを伝えてくれました。

今後とも鹿追駐屯地に対し、町民皆さまのご協力とご理解をお願いします。

【不易流行（ふえきりゅうこう）】
松尾芭蕉が提唱した俳諧理念・哲学の一つ。「不易」は永遠に変わらない、伝統や芸術の精神。「流行」は新しみを求めて時代とともに変化するもの。相反するようにみえる流行と不易も、ともに風雅に根ざす根源は実は同じであるとする考え。



陸上自衛隊北部方面総監（札幌）千葉徳次郎陸将

今年最後の、傍聴の機会です。

12月定例議会開催
12月7日 10時00分
鹿追町議会 3階本会議場

12月の定例会は12月7日から13日間の日程で開催が予定されています。15日午前10時から一般質問を予定しています。この機会に議会の傍聴に来てみませんか。詳細は役場議会事務局まで。66-4039